

パルde子育て



第10号 2017年3月



子どものケガや事故など いざという時の対応を身につけよう

子どもの事故を予防する環境を整えましょう

環境整備 月齢によって起こりやすい事故を想定して一歩先回りした環境を整える

安全教育 安全な行動を繰り返し伝える。大人がお手本を示す

運動機能を高める遊び 安全を確保して自由に遊ばせることで事故から身を守る運動機能が養われる

意識がない、呼吸、心臓が止まっている⇒こんな時には急いで手当てを！！

① 意識の確認

〈 乳児…1歳未満 ・ 幼児…1歳以上6才未満 〉

①(乳) すねのあたりを支え足の裏をたたきながら ①(幼) 肩口に膝をつき肩をたたきながら

耳元で大きな声をかける *このとき子どものからだを乱暴にゆすらない*

② 反応がない場合 119番通報・AEDの手配を周りにいる協力者に依頼する

協力者がいない場合は119番通報しAEDが近くにあれば準備する

③ 呼吸の確認 胸とお腹の動きの観察に集中し普段通りの呼吸があるか10秒以内で確認する

④ 普段通りの呼吸がない場合は胸骨圧迫を始める

①(乳) 中指薬指(指2本)を胸骨の下半分(両乳頭を結ぶ線の少し足側)に置き

①(幼) 手掌基部を胸骨の下半分(胸の真ん中)に置き

胸の厚みの1/3が充分沈み込む程度に強く圧迫する(1分間に100~120回のテンポで押す)

圧迫と圧迫の間(圧迫をゆるめている間)は胸が元の高さに戻るよう圧迫を解除する



⑤ 気道確保(空気の通り道)と 人工呼吸

片方の手で額を支え頭を軽く後方に傾け、他方の人差し指と中指で下あごを引き上げ

子どもの首は柔らかいので後方へ傾けすぎないようにする

①(乳) 口と鼻一緒におおい ①(幼) 鼻をつまみ口をおおい 胸が上がるのを見てわかる程度息を吹き込む

1回約1秒かけ2回連続して吹き込む・鼻をつまんだ指(鼻と口をおおった時)は1回毎に離す

救急隊到着まで胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

⑥ AEDが届いたら AEDの電源を入れ指示に従い装着する

呼吸の回復を示す変化が現れた場合は心肺蘇生を中断し呼吸を見る

電源は切らず電極パッドは貼り付けたままにしておく

普段通りの呼吸が確認できたら回復体位にして救急隊の到着を待つ

＝いざという時、あわてず対応できるよう学習の機会を見つけ何度も体験しておくことが望めます＝

いざという時に役立つ 子どもの救急時の対応学習会より

日本赤十字社ホームページ <http://www.jrc.or.jp/>



パルちゃん広場 ぽっかぽか

現在月に 1~2 回主に午前中に4つの組合員会館・2つの組合員集会室・2つの店舗集会室の8か所で開催しています。参加者から広場スタッフになる人も多く、各広場それぞれの特徴を活かし、地域に根ざした広場づくりを進めています。



城東では月に2回
10:30~12:00
開催しています



子育て中の親と子が気軽に立ち寄りホッとできる広場です。いろいろなおもちゃで遊んだり手あそびや絵本を楽しんだり、おしゃべりの花を咲かせるなど交流を深めています。



常設型子育て広場 パルちゃん広場 すくすく

毎週火曜日と木曜日(祝日は除く) 10:00~15:00
城東組合員会館3階で開催しています



子どもたちが遊ぶ姿を見守りながら
みんなでそだち愛

ゆっくりほっこりしたひとときを

子育ても一段落した世代の人やちょっと先輩ママ、広場の参加者からスタッフになった人などいろいろな世代のスタッフが関わる『パルちゃん広場ぽっかぽか』ですが、今回はその中でも特徴のある城東と寝屋川の2会場を紹介します。それぞれゆっくりと過ごしてもらえよう工夫しています。

寝屋川では月に1回
開催時間 10:30~13:15
みんなで楽しくランチタイム！
スタッフ手作りの軽食も用意
しています

広場の参加者さんとスタッフにインタビュー！！

パルちゃん広場ぽっかぽか

《参加者のみなさんの声》

私も子どももお友だちができました。
お友だちと笑って喋ってほっこりします。
広場でみんなと一緒に昼食を食べるといつもよりたくさん食べてくれます。
自分の子どもを客観的に見ることができ、新しい発見がありました。
少しでも遊べる場があればと来てみたら、想像以上に素敵な場所でした。

《スタッフの声》

お母さんと子どもたちの笑顔が見られて嬉しいです。
子どもたちの成長を感じます。
お母さん同士で情報交換ができます。
事前準備や広場の後のスタッフ同士の交流も楽しいです。
参加者さんに「ありがとう」の声をかけてもらったのが嬉しかった！

パルちゃん広場すくすく

《参加者のみなさんの声》

すくすく広場に参加するようになって子どもの表情が豊かになったように思います。
子ども同士で遊ぶので協調性が育つと思います。
周りの子を見て真似をするので 色々なことがどんどんできるようになりました。
ママ友と少し話してリフレッシュ！
親しみやすいので 他の参加ママさんと育児の悩みを共有できました。

《スタッフの声》

子どもたちの日々の成長を見守ることができます。
いろいろな年齢の方とお話することができます。
子ども連れてスタッフになることができ良かった。
たくさんの人と出会い視野が広がりました。



パルちゃん広場ぽっかぽか ここでやってま〜す！

寝屋川

阿倍野

城東

枚方

守口

今津

つるみ店

星ヶ丘店

詳しくは ぱるタイムやチラシをご覧ください

広場で人気の手あそび

「やきいも」
やきいも、やきいも、おなかがグー
「ぞうきん」
ららら ぞうきん ららら ぞうきん
「きゅうりもみ」
きゅうりをきゅつきゅきゅ〜



広場で人気の絵本

『いただきますあそび』
木村 裕一
偕成社



『だるまんシリーズ』
かがい ひろし
ブロンズ新社



『ちよんちよんちよん』
かしわら あきお
ひかりのくに





『たべる*たいせつキッズクラブ』は、5歳ぐらいから小学生の子どもたちの『食育』を応援するメンバーシップのクラブです。
子どもたちが学ぶ『食育』って、どんなことでしょうか。



《旬》 季節のおいしい食べ物。お店にならぶ野菜や果物なども季節によって変わりますね。畑を見たらもっと感じられます。それぞれの“旬”を楽しむことで“食”が豊かになります。

《栄養》 食べることで体は作られます。バランスよく食べることの大切さを学びます。子ども自身が何を食べるか考えられることも大切です。

《楽しく食べる》 一番大切なのは楽しく食べて“食べるのが大好き”になること。それが“食”を大切にすることになるのではないのでしょうか。家族やお友だちと一緒に食べる、自分で料理をする、それを家族に食べてもらう、食材を収穫するなどもっともっと楽しくなることがあるかもしれませんね。



これらのことをワークブックで勉強したり、おたよりに書いたり、見学会や子どものクッキングなどの体験を通じて楽しく学んでいます。



夏休みは、梅の産地に行って梅ジュースを作って、梅畑を見てきました。



10月には子どもたちがハロウィンパーティーのためのかぼちゃのモンブランケーキとフルーツポンチを作っておうちの人に食べてもらいました。



編集者のつぶやき

つい先日、文章力の弱い娘に「小さいころに絵本とか読んであげられなかったお母さんのせいやな、ごめんな。」と言ったら『うん、ぜんぜん大丈夫やで！』と言ってくれました。親想いのやさしい子に育ててくれたと喜んでいますが、この春から大学生になるのに このままでいいのかと少し不安もあります。今の情勢のことを考えると子どもが元気でいてくれるだけで幸せなのかもしれませんね。

～ お問い合わせ先 ～

おおさかパルコープ組合員サービスセンター

TEL 0120-299-090 携帯からは 072-856-7671(有料)

FAX 0120-299-230 火～金 9時～18時 月・土 9時～17時

発行 2017年 3月 おおさかパルコープ子育てサポートステーション

おおさかパルコープ
子育てサポートステーション

